

# 北秋田市職員採用試験案内



試験区分  
大学卒程度 一般行政 / 建築 / 土木

## ①大学卒程度 一般行政 [採用予定] 6～7人程度

【受験資格】 ①1992年4月2日から2000年4月1日までに生まれた者 / ②2000年4月2日以降に生まれた者で、大学卒または2022年3月卒業見込みの者

## ②建築 [採用予定] 2人程度

【受験資格】 ①1982年4月2日以降に生まれた者で、2022年3月末日までに大学において建築系学科の課程を修めた者または修める見込みの者 / ②1982年4月2日以降に生まれた者で、1級建築士または2級建築士の資格を有する者

## ③土木 [採用予定] 2人程度

【受験資格】 1982年4月2日以降に生まれた者で、2022年3月末日までに大学において土木課程を修めた者または修める見込みの者

◀一次試験▶※SPI3で実施します

エントリー期間 5月6日(木)から6月18日(金)まで  
※郵送、持参での申込みは受けできません。リクナビ2022(インターネット)からエントリーしてください。採用試験の詳細は、ホームページでご確認ください。

試験期間 6月1日(火)から6月29日(火)

試験会場 全国各地のSPIテストセンター

※9月中旬に高卒程度、消防吏員の採用試験を予定しています。詳細は広報7月号およびホームページ等でお知らせします。

市ホームページに詳しい情報を掲載しています



北秋田市 住民が主役の“もり”のまち

☎018-3392 北秋田市花園町19-1 北秋田市総務課総務係 ☎62-1111

資源ごみは正しく分別することによりリサイクルされ、燃やせるごみや燃やせないごみの削減となり、ごみを焼却した際に発生する二酸化炭素の抑制と、燃やせる灰の減少により最終処分場の延命化にもつながります。また、資源ごみはリサイクル業者へ売却され、売り上げがごみ処理にかかる費用の一部として活用されます。

市の資源ごみの現状についてお知らせします。下記の表はクリーンリサイクルセンターに集められた資源ごみの量と、ごみの総排出量に対する資源ごみの割合を表しています。資源ごみの割合は年々減少しています。これは、ペーパーレスの導入やマイボトルの活用など、社会情勢の変化もあり、紙缶、びんが減少したこともあり、資源ごみが正しく分別されないことで、燃やせるごみや燃やせないごみとして出されていることも要因として考えられます。

(単位：t)

	H27	H28	H29	H30	R元
紙類	776	712	683	651	616
ペットボトル	70	70	71	73	73
その他の資源ごみ	466	436	426	410	396
資源ごみの合計	1,312	1,218	1,180	1,134	1,085
ゴミの総排出量	11,285	10,876	10,628	10,580	10,742
資源ごみの割合 (%)	11.6	11.2	11.1	10.7	10.1

参考：R元 古紙売却収入：6,920千円、ペットボトル売却収入：3,163千円 (収入計：10,083千円)

環境  
コラム  
第43回  
北秋田市の資源ごみの現状を知り、適切な分別を意識してみよう

ごみを捨てる際は、資源ごみとして出せるのか、出せないのかをしっかりと確認することが大切です。適切な分別をすることでごみの発生を抑制し、環境への負荷が低減される循環型社会の構築ができるようご協力をお願いします。



- 公民館活動
- 生涯学習
- 文化振興
- 学校
- スポーツ

～地域で学び、活動する皆さんを応援します～

北秋田市教育委員会



# 学びの広場

## 湯車川でサケの稚魚2万匹旅立つ

～カムバック縄文サーモン～

伊勢堂岱遺跡のサケ放流事業「カムバック縄文サーモン」が4月3日に行われ、遺跡の下を流れる湯車川にサケの稚魚約2万匹を放流しました。

遺跡のすぐそばでサケの遡上を観察できることは非常に珍しく、約4000年前にこの地域で生活していた縄文人も遡上してきたサケを食べていたと考えられており、この環境を守ろうと平成23年から始めたこの事業は今年で11回目を迎えました。参加者たちはバケツに入ったサケの稚魚を川岸から放流



▲川岸から稚魚を放流する参加者し、旅立つサケが大きくなって元気に帰ってくるようお願いを込めて見送りました。

## 2年ぶりのスプリングコンサートを開催

～浜辺の歌音楽館少年少女合唱団・MMC～

3月23日、少年少女合唱団とOBを中心に構成されたMMCによるスプリングコンサートが市文化会館を会場に開催されました。

昨年はコロナ禍により中止となり、団員にとって待ちに待ったコンサートでした。第1部では、成田為三作品を含む合唱曲を演奏し、1年間の活動の成果を披露。第2部では、昨年上演できなかったミュージカル「ブレーメンの音楽隊」が上演され、それぞれが役になりきって熱唱しました。コロナ対



▲息の合ったハーモニーを披露したステージ策の制約もありましたが、会場はコンサートを開催できる幸せ、歌を共有できる喜びに包まれていました。

## 「清鷹小児童クラブ」がスタート

～放課後の児童の安全のために～

4月からの清鷹小開校に向け、建築が進められていた児童クラブの内覧会が、3月14日に児童と保護者を対象に行われました。

校舎北東側の亀森寮跡に新築したもので、放課後の児童の安全な生活と遊びの場を提供するために整備し、79人の児童が利用申込みをしています。

この日は84人の親子が、木の温かみを感じる明るく広い廊下を体感しながら、新生活を楽しみに待ちわびていました。



▲明るく広い児童クラブを見学する児童たち